

## 危険な移動ピラミッド

—2016年広島大附属三原中学での組体操死亡事故—

大阪経済大学 情報社会学部 西山 豊

秋の運動会に向けて全国の小中学校で組体操の取り組みが始まっていると思いますが、ピラミッドやタワー以外でも危険な技で重大事故が発生していますので、関係者は十分に注意してください。

### 1. 現在、裁判中です。

2016年6月18日、広島大学附属三原中学の運動会で、「3段騎馬」と呼ばれる演技で2段目にいた男子生徒が後頭部打撃による小脳出血で死亡するという事故が起こっています<sup>[1]</sup>。生徒の遺族は2017年11月、広島大学に提訴していますが、現在も裁判中で、広島大学は「崩落はなかった」として事故との因果関係を認めていません。

当該校では「3段騎馬」と呼んでいますが、組体操の教本では「移動ピラミッド」「肩上ピラミッド」「最下段起立ピラミッド」などの名称があります。3人が2列の6人で土台を作り、その上に俵積み方式の2段ピラミッド（3人）を乗せて、神輿（みこし）を担ぐようにして移動するというものです。

この技はとても不安定で危険なので、小中学校ではごく稀にしか実施されていません。3段騎馬は通常の騎馬（2段、4人）と構造的に異なりますが、2段騎馬と同じように退場門まで移動しています（図1）<sup>[2]</sup>。



(1)



(2)



(3)

図1. 危険な3段騎馬（事故のあった騎馬と同じもの）  
（広島大学附属三原中学、2016年6月17日）

## 2. 3段騎馬はいつ頃から

当校がいつ頃から「3段騎馬」を実施するようになったのか、それを知るには文献[3]の86～107ページに詳しいです。

「若い力」は、小学5年生から中学3年生の男子が行う組体操の当該校の名称で、演技の最後に退場シーンとして「3段騎馬」が用いられていました。

「若い力」は、伊達玄仁教諭（1953～1973、在任21年間）が創作し、金丸純二教諭（1972～2008、在任37年間）が引き継ぎ、佐伯育伸教諭（2010）に受け継がれたとあります<sup>[3]</sup>。

3段騎馬を考案した指導者、継続者も退職し、専門とする体育教師が不在のまま、生徒たちの見よう見まねで繰り返され、2016年6月の死亡事故となりました。以前から危険だと指摘されながら、漫然と40年以上も「3段騎馬」を実施してきた管理者の責任が問われます。

この3段騎馬は、2017年度からは中止されています。



騎馬で退場する生徒達は  
達成感で満たされている

図2. 「若い力」は広島大附属三原学園の伝統でした。（文献[3] p107より）

## 3. 組体操による死亡事故は10件

組体操の死亡事故はこれまでに9件あり<sup>[4]</sup>、新聞で確認できるのは3件（下表の2, 3, 7）です。広島の事故で10件となります。組体操で死亡するなどあってはならないことです。

(3)表3 組体操事故死亡事例

(日本スポーツ振興センター昭和45年度から平成27年度までの死亡見舞金給付案件9件)

NO	学校種	給付年度	学年	性別	死因	演技別	災害発生時の位置
1	小学校	S48~52	6年	男	頭部打撲	2段タワー	2段目
2	小学校	S58	6年	女	脳挫傷 急性硬膜外血腫	2段タワー	2段目
3	小学校	S63	6年	男	急性心不全	3段ピラミッド	土台(1段目)
4	中学校	S45~47	3年	男	腎不全	倒立からの肩車	2段目
5	中学校	S48~52	2年	男	脳内出血	3段タワー	2段目
6	中学校	S63	2年	男	※急性心不全	不明	説明中、体育座り
7	中学校	H 4	3年	男	圧死	タワー	2段目
8	中学校	H 8	2年	男	※心筋炎	3段タワー後	完成後、歩き始め
9	高等学校	S50~54	1年	男	皮下十二指腸後腹膜内破裂	3段タワー	2段目

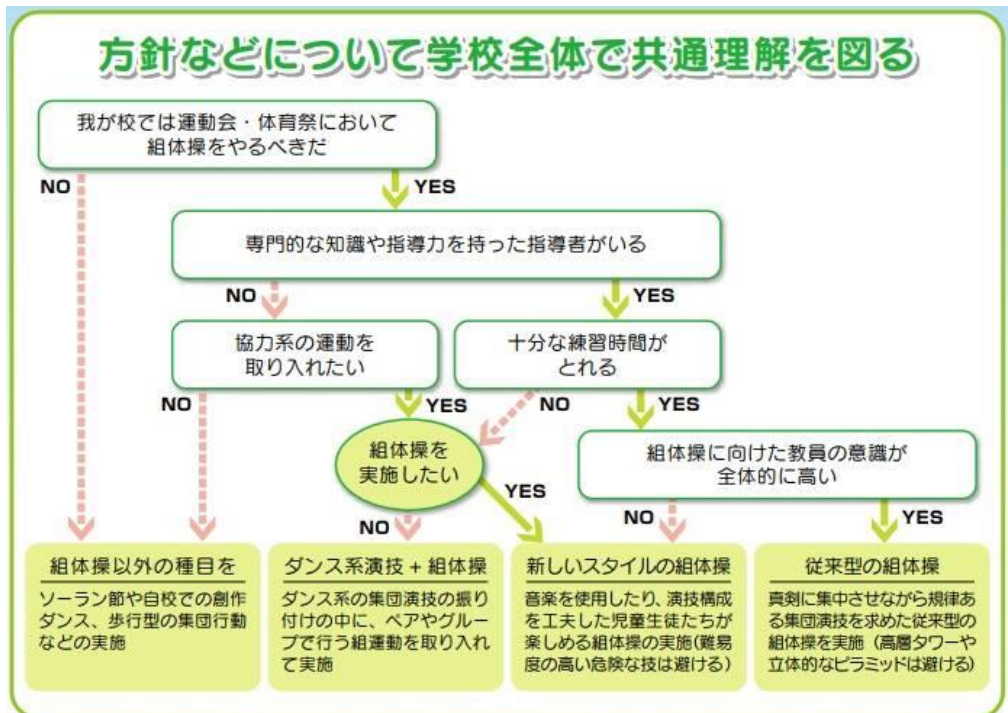
※組体操練習時の突然死

表1. 組体操による死亡事例(昭和45年~平成27年)日本スポーツ振興センター

4. 安全確保できない場合は中止を

次のフローチャートは、日本スポーツ振興センター学校安全部による、「組体操による事故を防ぐために！」(教職員向け、平成29年9月号)から抜粋したものです<sup>5)</sup>。

「安全確保できない場合は中止を」とスポーツ庁は指針を出しています(平成29年3月)。組体操の事故件数は、年間8000件が推移していて、2016年度は5300件に減少しましたが、骨折はいまだに1000件を超えています。重大事故や死亡事故が起こらないために、関係者には、今一層の注意喚起を要請します<sup>6)</sup>。



平成28年度スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止対策推進事業 「体育的行事における事故防止事例集」より

(参考資料)

[1] 「組み体操「死亡は頭強打が原因」遺族が広島大学を提訴」(毎日新聞、2017年11月2日)

[http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi\\_2017\\_11\\_2.pdf](http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi_2017_11_2.pdf)

[2] 「運動会のピラミッド「膝立ち危険」専門家が注意喚起」(中国新聞、2018年5月3日)

[http://www.geocities.jp/ma85003/kumi/chugoku\\_3may2018.pdf](http://www.geocities.jp/ma85003/kumi/chugoku_3may2018.pdf)

[3] 広島大学附属三原学園『幼小中一貫で育てる「かかわり力」—広島大学附属三原学園での12年間』溪水社、2010年10月

86～107ページに伝統種目である「椿」と「若い力」の説明があります。

<http://www.geocities.jp/ma85003/kumi/hirosima2.pdf>

<http://www.geocities.jp/ma85003/kumi/hirosima3.pdf>

広島大学附属三原学園校『創立百周年記念誌』2012年、94ページ～95ページ

<http://www.geocities.jp/ma85003/kumi/hirosima1.pdf>

[4] 「体育的行事における事故防止事例集」日本スポーツ振興センター、平成29年3月発行

[https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen\\_school/28jireisyu.pdf](https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen_school/28jireisyu.pdf)

[5] 「組体操による事故を防ぐために！」(教職員向け、平成29年9月号)、日本スポーツ振興センター学校安全部

[http://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/kenko/pdf/card/H29/H29\\_9\\_3.pdf](http://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/kenko/pdf/card/H29/H29_9_3.pdf)

[6] 西山豊「組体操事故(記事、資料)」:

<http://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/nishiyama/kumi.html>

(連絡先)

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

大阪経済大学 情報社会学部

西山 豊

Tel: 06-6328-2431 (代)

E-mail: [nishiyama@osaka-ue.ac.jp](mailto:nishiyama@osaka-ue.ac.jp)

Home Page: <http://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/nishiyama/index.html>